

2025(令和7)年度 パソコン実技試験問題（あらすじ）

テーマ「山中市ニュータウン再生に向けて」

西村です。ただいまから山中市ニュータウン再生施策推進協議会を開会します。

私は本日の司会をします山中市都市づくり推進課、課長の西村です。

よろしくお願いいたします。

市長の石田は、参加予定ですが、午前中に公務で市外に行き、渋滞のため遅れています。

市長の挨拶は戻ってからとなります。

まず、協議会の委員選出について報告します。

この協議会は、2種類の委員で構成されています。都市開発のプロと地域住民の、合計30名です。

そのうち、市民5名を公募したところ、350名の方から応募がありました。

たくさんの方に興味を持っていただき、ありがとうございます。

これから2年の任期中、月に1回程度、協議会を開催する予定です。よろしくお願いいたします。

さて、私は山中市生まれの山中市育ちです。一度も他の街で生活をしたことがない山中っ子です。

私は西団地にある、山中西小学校に通っていました。

私が小学生のときは、たしか1学年5クラスありましたが、今年の1年生は1クラスだけだと聞いて、少なくなったと、びっくりしています。

人口減少は全国的な傾向で、総務省によると、日本の人口は100年後には今の3分の1になると予測されているそうです。人口減少は山中市も同様ですので、将来を見据えての議論を、この協議会でお願いしたいです。

ここで、山中市ニュータウンの始まりを振り返りますと、1962年に建設計画が始まりました。

その後、1977年に入居がスタートしました。

当時の西団地は、駅までバスで10分ほどと通勤にも便利で、公園や歩道も整備されていたため、「子育ての街」として誕生しました。

昔は「寝食同室」という間取りでしたが、ニュータウンは食事の部屋と寝室を分けるなど新しい生活様式が魅力的だったので、競争倍率が20倍を超えることもあるほど人気があったと聞いております。

次にニュータウンの現状をご報告します。

初めに、交通問題ですが、昨年度、西団地でコミュニティバスの統廃合が行われました。

利用者から、いろいろなご意見をいただいています。

例えば、今までは西団地から駅まで直通のバスがあったのですが、路線の統廃合により、南団地をってから行く遠回りのコースになりました。

私も先日、西団地からバスで駅まで行ったのですが、車で7分のところを、バスだと25分かかりました。統廃合前は13分くらいだったんですけどね。

通勤で駅までバスを利用する方は不便になったと思います。

ただ、高齢の方が南団地方面への買い物や通院で行くときには、便利になっているようです。

どちらか一方でなく、両方にとっての利便性も考えなくてはなりません。

また、医療の問題ですが、今は西団地の近くに「中央総合病院」がありますが、高齢者や子育て世代にとっては、このような総合病院が身近にあるかどうかは大きな問題だと思います。それ以外にも、例えば高層団地では、6階以上にはエレベーターがありますが、5階以下にはありません。そのような課題を解決せずに住み続けることは難しいので、課題を出し合って考える会にしていきたいと思います。

聞き取り調査によると、山市ニュータウンの住民の大半が、ずっと住み続けたいと希望されているということです。

今まで築いてこられたコミュニティがあって、それをこれからも大切にしていきたいからということです。ずっと住み続けられることを目指した協議会にしたいと思っております。

協議会の進め方については、まず課題の洗い出しをした後で作業部会を作る予定です。

皆様には、市長が戻りましたら委嘱状をお渡しいたします。

また、事務的な書類もあり、そこに守ってほしいことを記載しています。

協議会の内容には守秘義務があります。部外者には口外しないでください。

協議の前に、今日は第1回目として、委員であり都市計画専門の小川先生に、「ニュータウン再生への近道」の講演をしていただきます。資料は皆様のお席に置いています。

では、小川先生、よろしくお願いします。

以上です。

1629／2520 文字

2025(令和7)年度 手書き実技試験問題 (あらすじ)

テーマ「ペット同行避難について」

青木です。今年度、大塚町自主防災委員の私から防災の話をします。

よろしくお願いします。

自主防災委員を引き受けて、学んだことを伝達します。

それから、自治会の備蓄防災食料のご飯と飲料水を配付するので、持って帰ってください。

このご飯は賞味期限があと2年です。水もあと2年です。

組の皆さんに配付するときは賞味期限が半分過ぎていることを伝えてください。

毎年、総会でご飯や水をもらっていましたが、これは毎年3月に入れ替えをしているからです。

古いものを自治会員に配付して、新しいものを補充しています。このご飯は、ぜひ食べてみてください。

この、実際に食べてみてというのは、事前体験が大切だからです。避難所も実際に歩いて行ってみると、ルートによっては災害があったら危ない場所があるかもしれません。

学習会のテーマは、南海トラフ地震が30年以内に発生する確率が高いと言われていますので、防災の話です。

この町内は、犬を飼っている人が多いですね。そこで、犬を中心にペット同行避難の話をします。10分ほどですが、自主防災会で得た知識を皆さんに伝達します。

ペットを飼っていない方は、避難所で受け入れる側として聞いてください。

まず、ペットが避難所に一緒に行けるかを確認しましょう。今年度、うちの学区でも避難所でのペット受け入れを検討し始めました。市では運営マニュアルなどを整備しているので、今後は受け入れ可能なところが増えるのではないのでしょうか。

ペット受け入れ可の避難所は、この辺では小学校ですが、ルートを日頃から散歩のコースにして、ペットにも体験させておくことは大切です。小学校の中には入れないので周りを回ると良いですね。

次に餌です。人間用の食料は自治会で備蓄をしていますが、ペットフードはありません。

うちの犬はドライフードが好きです。避難所でウェットフードがあっても食べないかもしれません。

食べ慣れた餌があるだけで落ち着きます。

忘れがちなのが食器ですね。餌は手でも食べてくれますが、水は難しい。入れ物を準備しておくの良いです。

ペットフードは1週間分以上は準備したほうがよいそうです。復興が始まってもペットフードが店に揃うのは随分先のようにです。

それ以外に、リードと首輪が必要です。首輪は必須です。首輪をつけることや、キャリーバッグに入る訓練もおきましょう。遊びに行くときなど、普段から使うようにしておきましょう。

そして鑑札ですね。迷子になったときに必要です。首輪につけていて紛失することもあるそうです。

うちも失くして、再発行してもらいました。

安心なのは犬の体内に埋め込むチップです。市の無料補助もありますし、紛失の心配もありませ

ん。かかりつけの先生に尋ねてみても良いですね。

それから、狂犬病の予防注射実施済みの証明があることが避難所に入れる条件です。案内が届いたら、早めに予防注射に行くと良いですよ。

避難所ではペットと人間は別空間にいるので、家とは違う環境で過ごすことになります。

そのため、環境の変化によりペットが体調を崩すかもしれません。すぐに気付けるような観察力も飼い主が持たなくてはなりません。対処法なども知っておくと、安心です。

ペットも安全に避難をさせるには、日頃からの準備とシミュレーションをして、慌てないことが大切です。

来年度は自治会の避難訓練をペット同行で計画しています。いつも9月に実施していますが、ペット同行のため、9月はまだ暑いので11月頃に行う予定です。

この1年で学んだことは、まだありますが、時間なので終わります。

以上です。

1462／2414 文字